

に於いてすらその經濟的並に社會的諸關係の改善向上は出産減退化の傾向を伴ふといふ事實を證據立てるに足るものだとモンベルトはいふ。そして其間に間々認知せられる反規則的な例外的事例も、例へば之をションヘン市の家質の例に於いて見たように、全くの特殊事情によるもので、合法則的な聯關係の存在を否定するものではない。また上掲諸表に見られるその他小さな數字上の出入は、妊娠年齢期の妻の年齢構成や、その他婚姻年

齢、婚姻持續期間等のこまかい相異をも同時に考慮し得ないことからも生ずる筈であり、また觀察實數が小さい爲に實數に於ける僅かの差が比率の上では比較的大きく現はれるといふような事情からもくる。要之、社會的福祉の増進と妊娠率低下との相關は、モンベルトにとつては、恰も近代人口現象に於ける第一原理の如く、統計的分析を詳細にすればするほど、より純粹な形を以つて確證せらるべきものであることになる。(以下次號)

### 獨逸の人口動態

(人口千に対する)

	婚姻	出生	死亡	婚姻	出生	死亡	婚姻	出生	死亡
一九〇一	八・二	三・五	二・六	一九〇一	八・〇	三・四	一九〇一	八・〇	三・三
一九〇二	九・一	三・五	二・九	一九〇二	八・〇	三・四	一九〇二	八・一	三・三
一九〇三	一〇・〇	三・五	二・九	一九〇三	八・〇	三・四	一九〇三	八・一	三・三
一九〇四	九・九	三・七	二・九	一九〇四	八・一	三・四	一九〇四	八・一	三・三
一九〇五	九・一	三・六	二・九	一九〇五	八・一	三・四	一九〇五	八・一	三・三
一九〇六	九・一	三・六	二・九	一九〇六	八・一	三・四	一九〇六	八・一	三・三
一九〇七	九・一	三・六	二・九	一九〇七	八・一	三・四	一九〇七	八・一	三・三
一九〇八	九・一	三・六	二・九	一九〇八	八・一	三・四	一九〇八	八・一	三・三
一九〇九	九・一	三・六	二・九	一九〇九	八・一	三・四	一九〇九	八・一	三・三
一九一〇	九・一	三・六	二・九	一九一〇	八・一	三・四	一九一〇	八・一	三・三
一九一一	九・一	三・六	二・九	一九一一	八・一	三・四	一九一一	八・一	三・三
一九一二	九・一	三・六	二・九	一九一二	八・一	三・四	一九一二	八・一	三・三
一九一三	九・一	三・六	二・九	一九一三	八・一	三・四	一九一三	八・一	三・三
一九一四	九・一	三・六	二・九	一九一四	八・一	三・四	一九一四	八・一	三・三
一九一五	九・一	三・六	二・九	一九一五	八・一	三・四	一九一五	八・一	三・三
一九一六	九・一	三・六	二・九	一九一六	八・一	三・四	一九一六	八・一	三・三
一九一七	九・一	三・六	二・九	一九一七	八・一	三・四	一九一七	八・一	三・三
一九一八	九・一	三・六	二・九	一九一八	八・一	三・四	一九一八	八・一	三・三
一九一九	九・一	三・六	二・九	一九一九	八・一	三・四	一九一九	八・一	三・三
一九二〇	九・一	三・六	二・九	一九二〇	八・一	三・四	一九二〇	八・一	三・三
一九二一	九・一	三・六	二・九	一九二一	八・一	三・四	一九二一	八・一	三・三
一九二二	九・一	三・六	二・九	一九二二	八・一	三・四	一九二二	八・一	三・三
一九二三	九・一	三・六	二・九	一九二三	八・一	三・四	一九二三	八・一	三・三
一九二四	九・一	三・六	二・九	一九二四	八・一	三・四	一九二四	八・一	三・三
一九二五	九・一	三・六	二・九	一九二五	八・一	三・四	一九二五	八・一	三・三
一九二六	九・一	三・六	二・九	一九二六	八・一	三・四	一九二六	八・一	三・三
一九二七	九・一	三・六	二・九	一九二七	八・一	三・四	一九二七	八・一	三・三
一九二八	九・一	三・六	二・九	一九二八	八・一	三・四	一九二八	八・一	三・三
一九二九	九・一	三・六	二・九	一九二九	八・一	三・四	一九二九	八・一	三・三
一九三〇	九・一	三・六	二・九	一九三〇	八・一	三・四	一九三〇	八・一	三・三
一九三一	九・一	三・六	二・九	一九三一	八・一	三・四	一九三一	八・一	三・三
一九三二	九・一	三・六	二・九	一九三二	八・一	三・四	一九三二	八・一	三・三
一九三三	九・一	三・六	二・九	一九三三	八・一	三・四	一九三三	八・一	三・三
一九三四年	九・一	三・六	二・九	一九三四年	八・一	三・四	一九三四年	八・一	三・三
一九三五年	九・一	三・六	二・九	一九三五年	八・一	三・四	一九三五年	八・一	三・三
一九三六年	九・一	三・六	二・九	一九三六年	八・一	三・四	一九三六年	八・一	三・三
一九三七年	九・一	三・六	二・九	一九三七年	八・一	三・四	一九三七年	八・一	三・三
一九三八年	九・一	三・六	二・九	一九三八年	八・一	三・四	一九三八年	八・一	三・三
一九三九年	九・一	三・六	二・九	一九三九年	八・一	三・四	一九三九年	八・一	三・三
一九四〇年	九・一	三・六	二・九	一九四〇年	八・一	三・四	一九四〇年	八・一	三・三
一九四一年	九・一	三・六	二・九	一九四一年	八・一	三・四	一九四一年	八・一	三・三
一九四二年	九・一	三・六	二・九	一九四二年	八・一	三・四	一九四二年	八・一	三・三
一九四三年	九・一	三・六	二・九	一九四三年	八・一	三・四	一九四三年	八・一	三・三
一九四四年	九・一	三・六	二・九	一九四四年	八・一	三・四	一九四四年	八・一	三・三
一九四五年	九・一	三・六	二・九	一九四五五年	八・一	三・四	一九四五五年	八・一	三・三
一九四六年	九・一	三・六	二・九	一九四六年	八・一	三・四	一九四六年	八・一	三・三
一九四七年	九・一	三・六	二・九	一九四七年	八・一	三・四	一九四七年	八・一	三・三
一九四八年	九・一	三・六	二・九	一九四八年	八・一	三・四	一九四八年	八・一	三・三
一九四九年	九・一	三・六	二・九	一九四九年	八・一	三・四	一九四九年	八・一	三・三
一九五〇年	九・一	三・六	二・九	一九五〇年	八・一	三・四	一九五〇年	八・一	三・三
一九五一年	九・一	三・六	二・九	一九五一年	八・一	三・四	一九五一年	八・一	三・三
一九五二年	九・一	三・六	二・九	一九五二年	八・一	三・四	一九五二年	八・一	三・三
一九五三年	九・一	三・六	二・九	一九五三年	八・一	三・四	一九五三年	八・一	三・三
一九五四年	九・一	三・六	二・九	一九五四年	八・一	三・四	一九五四年	八・一	三・三
一九五五年	九・一	三・六	二・九	一九五五年	八・一	三・四	一九五五年	八・一	三・三
一九五六年	九・一	三・六	二・九	一九五六年	八・一	三・四	一九五六年	八・一	三・三
一九五七年	九・一	三・六	二・九	一九五七年	八・一	三・四	一九五七年	八・一	三・三
一九五八年	九・一	三・六	二・九	一九五八年	八・一	三・四	一九五八年	八・一	三・三
一九五九年	九・一	三・六	二・九	一九五九年	八・一	三・四	一九五九年	八・一	三・三
一九六〇年	九・一	三・六	二・九	一九六〇年	八・一	三・四	一九六〇年	八・一	三・三
一九六一年	九・一	三・六	二・九	一九六一年	八・一	三・四	一九六一年	八・一	三・三
一九六二年	九・一	三・六	二・九	一九六二年	八・一	三・四	一九六二年	八・一	三・三
一九六三年	九・一	三・六	二・九	一九六三年	八・一	三・四	一九六三年	八・一	三・三
一九六四年	九・一	三・六	二・九	一九六四年	八・一	三・四	一九六四年	八・一	三・三
一九六五年	九・一	三・六	二・九	一九六五年	八・一	三・四	一九六五年	八・一	三・三
一九六六年	九・一	三・六	二・九	一九六六年	八・一	三・四	一九六六年	八・一	三・三
一九六七年	九・一	三・六	二・九	一九六七年	八・一	三・四	一九六七年	八・一	三・三
一九六八年	九・一	三・六	二・九	一九六八年	八・一	三・四	一九六八年	八・一	三・三
一九六九年	九・一	三・六	二・九	一九六九年	八・一	三・四	一九六九年	八・一	三・三
一九七〇年	九・一	三・六	二・九	一九七〇年	八・一	三・四	一九七〇年	八・一	三・三
一九七一年	九・一	三・六	二・九	一九七一年	八・一	三・四	一九七一年	八・一	三・三
一九七二年	九・一	三・六	二・九	一九七二年	八・一	三・四	一九七二年	八・一	三・三
一九七三年	九・一	三・六	二・九	一九七三年	八・一	三・四	一九七三年	八・一	三・三
一九七四年	九・一	三・六	二・九	一九七四年	八・一	三・四	一九七四年	八・一	三・三
一九七五年	九・一	三・六	二・九	一九七五年	八・一	三・四	一九七五年	八・一	三・三
一九七六年	九・一	三・六	二・九	一九七六年	八・一	三・四	一九七六年	八・一	三・三
一九七七年	九・一	三・六	二・九	一九七七年	八・一	三・四	一九七七年	八・一	三・三
一九七八年	九・一	三・六	二・九	一九七八年	八・一	三・四	一九七八年	八・一	三・三
一九七九年	九・一	三・六	二・九	一九七九年	八・一	三・四	一九七九年	八・一	三・三
一九八〇年	九・一	三・六	二・九	一九八〇年	八・一	三・四	一九八〇年	八・一	三・三
一九八一年	九・一	三・六	二・九	一九八一年	八・一	三・四	一九八一年	八・一	三・三
一九八二年	九・一	三・六	二・九	一九八二年	八・一	三・四	一九八二年	八・一	三・三
一九八三年	九・一	三・六	二・九	一九八三年	八・一	三・四	一九八三年	八・一	三・三
一九八四年	九・一	三・六	二・九	一九八四年	八・一	三・四	一九八四年	八・一	三・三
一九八五年	九・一	三・六	二・九	一九八五年	八・一	三・四	一九八五年	八・一	三・三
一九八六年	九・一	三・六	二・九	一九八六年	八・一	三・四	一九八六年	八・一	三・三
一九八七年	九・一	三・六	二・九	一九八七年	八・一	三・四	一九八七年	八・一	三・三
一九八八年	九・一	三・六	二・九	一九八八年	八・一	三・四	一九八八年	八・一	三・三
一九八九年	九・一	三・六	二・九	一九八九年	八・一	三・四	一九八九年	八・一	三・三
一九九〇年	九・一	三・六	二・九	一九九〇年	八・一	三・四	一九九〇年	八・一	三・三
一九九一年	九・一	三・六	二・九	一九九一年	八・一	三・四	一九九一年	八・一	三・三
一九九二年	九・一	三・六	二・九	一九九二年	八・一	三・四	一九九二年	八・一	三・三
一九九三年	九・一	三・六	二・九	一九九三年	八・一	三・四	一九九三年	八・一	三・三
一九九四年	九・一	三・六	二・九	一九九四年	八・一	三・四	一九九四年	八・一	三・三
一九九五年	九・一	三・六	二・九	一九九五年	八・一	三・四	一九九五年	八・一	三・三
一九九六年	九・一	三・六	二・九	一九九六年	八・一	三・四	一九九六年	八・一	三・三
一九九七年	九・一	三・六	二・九	一九九七年	八・一	三・四	一九九七年	八・一	三・三
一九九八年	九・一	三・六	二・九	一九九八年	八・一	三・四	一九九八年	八・一	三・三
一九九九年	九・一	三・六	二・九	一九九九年	八・一	三・四	一九九九年	八・一	三・三
二〇〇〇年	九・一	三・六	二・九	二〇〇〇年	八・一	三・四	二〇〇〇年	八・一	三・三
二〇〇一年	九・一	三・六	二・九	二〇〇一年	八・一	三・四	二〇〇一年	八・一	三・三
二〇〇二年	九・一	三・六	二・九	二〇〇二年	八・一	三・四	二〇〇二年	八・一	三・三
二〇〇三年	九・一	三・六	二・九	二〇〇三年	八・一	三・四	二〇〇三年	八・一	三・三
二〇〇四年	九・一	三・六	二・九	二〇〇四年	八・一	三・四	二〇〇四年	八・一	三・三
二〇〇五年	九・一	三・六	二・九	二〇〇五年	八・一	三・四	二〇〇五年	八・一	三・三
二〇〇六年	九・一	三・六	二・九	二〇〇六年	八・一	三・四	二〇〇六年	八・一	三・三
二〇〇七年	九・一	三・六	二・九	二〇〇七年	八・一	三・四	二〇〇七年	八・一	三・三
二〇〇八年	九・一	三・六	二・九	二〇〇八年	八・一	三・四	二〇〇八年	八・一	三・三
二〇〇九年	九・一	三・六	二・九	二〇〇九年	八・一	三・四	二〇〇九年	八・一	三・三
二〇一〇年	九・一	三・六	二・九	二〇一〇年	八・一	三・四	二〇一〇年	八・一	三・三
二〇一一年	九・一	三・六	二・九	二〇一一年	八・一	三・四	二〇一一年	八・一	三・三
二〇一二年	九・一	三・六	二・九	二〇一二年	八・一	三・四	二〇一二年	八・一	三・三
二〇一三年	九・一	三・六	二・九	二〇一三年	八・一	三・四	二〇一三年	八・一	三・三
二〇一四年	九・一	三・六	二・九	二〇一四年	八・一	三・四	二〇一四年	八・一	三・三
二〇一五年	九・一	三・六	二・九	二〇一五年	八・一	三・四	二〇一五年	八・一	三・三
二〇一六年	九・一	三・六	二・九	二〇一六年	八・一	三・四	二〇一六年	八・一	三・三
二〇一七年	九・一	三・六	二・九	二〇一七年					